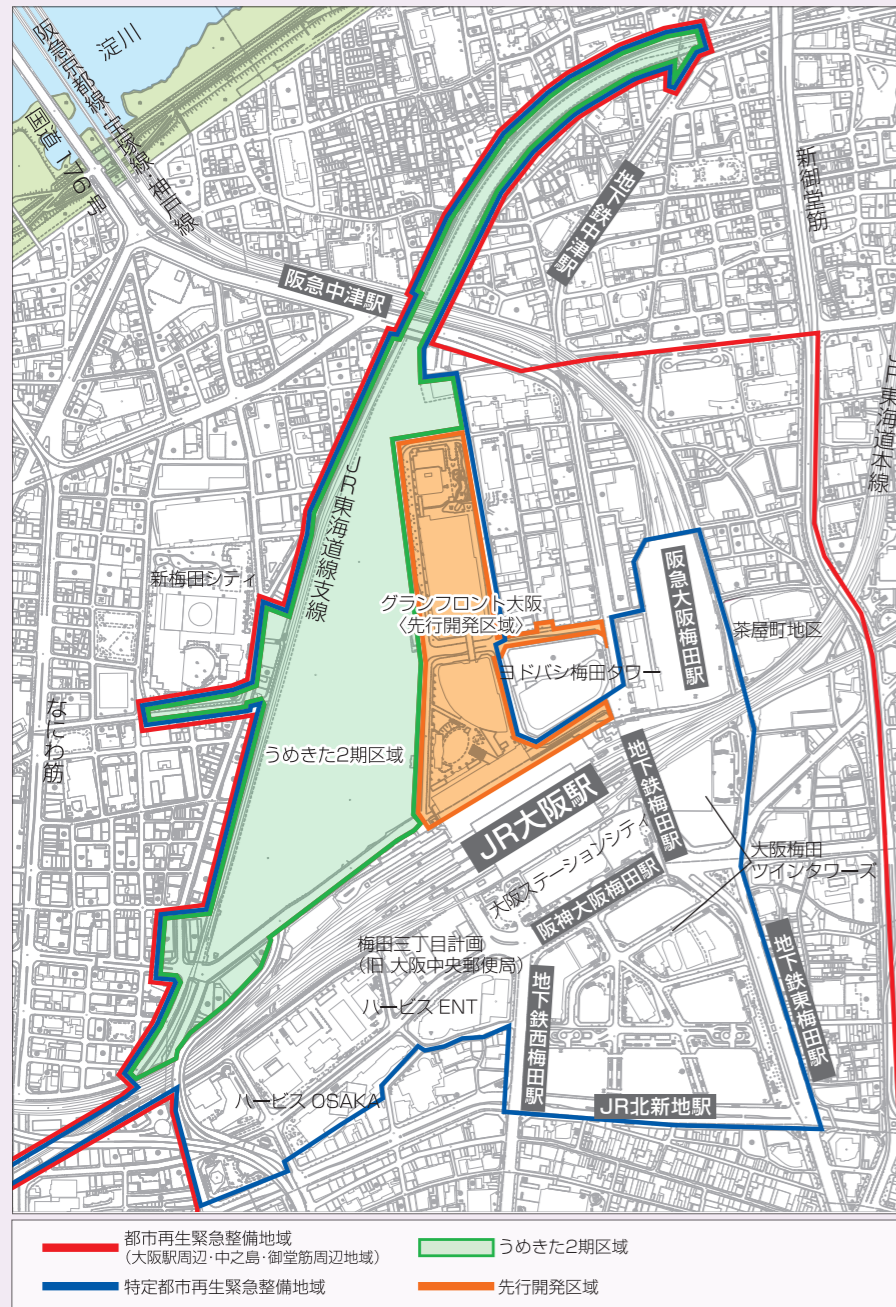


■ 周辺状況図



■ うめきた地区のポテンシャル

※現状で、大阪駅から関西国際空港までの所要時間がJRなら約70分かかりますが、JR東海道線支線地下化および新駅設置により約20分短縮される見込みです。



Topic

新駅からJR難波駅および南海本線新今宮駅をつなぎ、新大阪や関西国際空港へのアクセスが向上するにわ筋線も整備される予定です。(2031年開業予定)

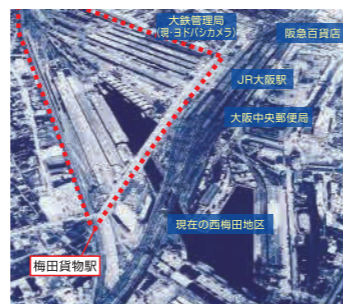
うめきた地区周辺の歴史

◎鉄道の開通と共に町が発展 (明治～大正)

大阪神戸間の鉄道開通で大阪駅が開設されたのは明治7年。当時の梅田界隈は、今のにぎわいから想像もつかない、人気のない湿地帯であった。このことは、うめだの語源が「埋めた」であることから推測できる。

◎鉄道貨物と水上貨物が集積される一大拠点として発展(昭和)

昭和3年12月1日に梅田貨物駅として貨物取扱いを開始し、85年の歴史をもっていた。開駅当時から昭和30年代まで当駅には堂島川からひいた「掘割水路」があり、かつては鉄道貨物と水上貨物が集散される一大拠点であった。



UMEKITA Project

2nd Stage



独立行政法人 都市再生機構

西日本本社 都市再生業務部 うめきた都市再生事務所
〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪 タワーA17階
TEL: 06-6292-5267 FAX: 06-6292-5274

URうめきた

検索



街に、ルネッサンス

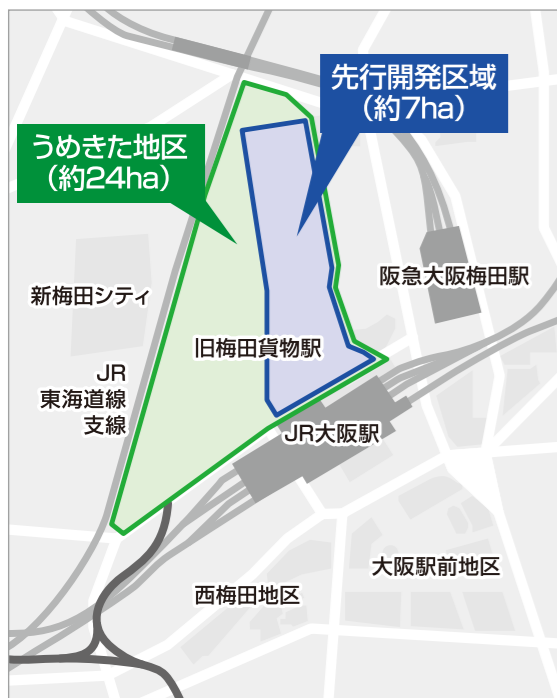


UR都市機構

大阪の“都心に残された最後の一等地”うめきたに
新しいまちが生まれるまで。

都市再生のプロデューサーとして。
実を結んだ、公民連携による民間都市再生。

■ 区域図



■ 地区の概要

- 所在地：大阪市北区大深町ほか
- 地区面積等：旧梅田貨物駅区域 約24ha (先行開発区域 約7ha)
- 都市計画等：都市再生緊急整備地域 (大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域)
商業地域、防火地域 (容積率800%・600%/建ぺい率80%)
準工業地域、準防火地域 (容積率300%/建ぺい率60%)
航空法による高さ制限
大阪駅北地区地区計画
都市再生特別地区(大阪駅北地区) (容積率の最高限度1600%・1150%)
特定都市再生緊急整備地域 (大阪駅周辺地域)
うめきた2期地区地区計画

(令和2年(2020年)1月現在)

■ 事業の経緯

S62	1987年	国鉄改革に伴い梅田貨物駅用地を国鉄清算事業団へ継承
H14	2002年	都市再生緊急整備地域の指定(約490ha)<7月> 国際コンセプトコンペの実施<平成14年9月~平成15年3月>
H15	2003年	大阪市が「大阪駅北地区全体構想」を策定<10月>
H16	2004年	「大阪駅北地区まちづくり基本計画」策定(大阪市)<7月>
H17	2005年	先行開発区域都市計画決定(区画整理・道路・広場)<12月> 土地区画整理事業認可<6月>
H18	2006年	先行開発区域都市計画決定(地区計画・用途地域変更等)<2月> A・B・Cブロック事業者決定<5月・11月> 地区名称を公募により「うめきた/梅北」に決定<2月>
H23	2011年	うめきた2期区域都市計画決定 (区画整理・道路・交通広場・都市高速鉄道)<4月> 関西イノベーション国際戦略総合特区に指定<12月> 特定都市再生緊急整備地域に指定(約82ha)<1月>
H24	2012年	一般社団法人グランフロント大阪TMO設立<5月> 大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域都市再生緊急整備協議会設立<9月> 先行開発区域換地処分公告<3月>
H25	2013年	グランフロント大阪(先行開発区域)まちびらき<4月> うめきた2期区域民間提案募集(1次募集)開始<10月> 民間提案優秀者公表(20者)<3月>
H26	2014年	うめきた2期区域まちづくり検討会発足<6月> JR東海道線支線地下化事業認可<1月> 「うめきた2期区域まちづくりの方針」決定<3月> 大阪府・大阪市からUR都市機構へ事業要請<5月> 鉄道・運輸機構と土地売買契約締結<10月> 土地区画整理事業認可<11月> JR東海道線支線地下化事業の工事着手<11月>
H27	2015年	区画整理の工事着手<7月>
H28	2016年	都市計画決定(地区計画、用途地域変更、道路変更)<1月>
H29	2017年	うめきた2期開発事業者募集開始<12月>
H30	2018年	うめきた2期開発事業者決定<7月> 都市計画決定(都市公園)<3月>
H31/R1	2019年	なにわ筋線鉄道事業許可<7月> 土地区画整理事業計画変更<9月>

青文字：主に先行開発区域に関する事柄 緑文字：主に2期区域に関する事柄

事業前の様子
H16<2004>.3



平成25年(2013年)まで梅田貨物駅が営業していました

現在の様子
R元<2019>.9



■ まちづくりの基本方針(まちづくりの5つの柱) ※平成16年(2004年)大阪市策定の「大阪駅北地区まちづくり基本計画」より

世界に誇る
ゲートウェイづくり

賑わいとふれあいの
まちづくり

知的創造活動の拠点
(ナレッジキャピタル)づくり

公民連携の
まちづくり

水と緑あふれる
環境づくり

■ 基盤整備

■ 公共施設概要

開発事業者と協働して、質の高い公共施設整備を推進しました。

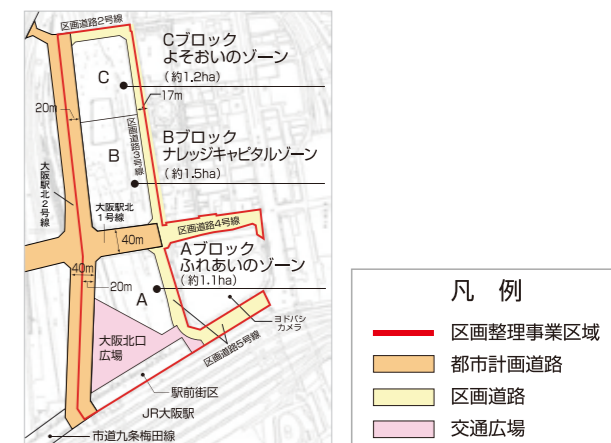


民間提案を取り入れた歩道整備



区画整理で生み出された用地に民間提案で創意工夫を凝らした大阪北口広場

■ 基盤整備計画

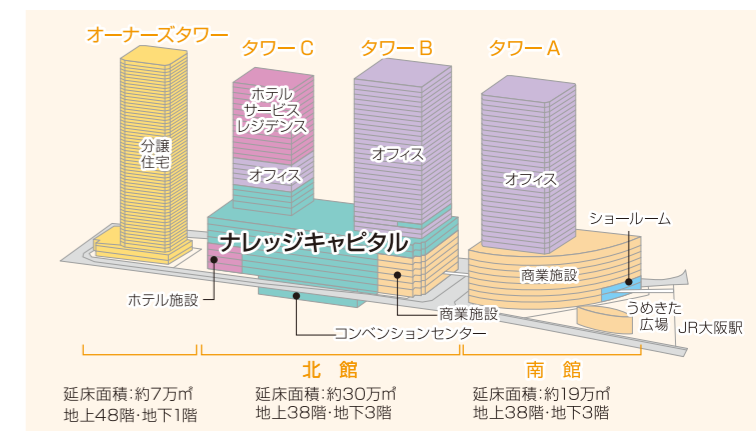


■ 民間誘導

UR都市機構は、まちづくり基本計画、とりわけナレッジキャピタルの実現のために民間の開発事業者を適切に誘導するため、Bブロックの土地を取得し、主に「一体的なまちづくり」、「ナレッジキャピタルの実現・運営組織づくり」、「タウンマネジメント組織の設置」といった開発条件を定め、事業企画提案方式による募集を行いました。



■ 「グランフロント大阪」施設構成概念図



関西経済に多大なインパクトを与える「グランフロント大阪」

ナレッジキャピタルを核としたまちづくり



ナレッジキャピタルとは、「感性」と「技術」の融合により「新たな価値」を創出する複合施設であり、グランフロント大阪の中核施設です。
ナレッジキャピタルの中心に位置する情報発信拠点「ナレッジプラザ」
ナレッジキャピタルに集まる新しい価値を、展示・発信する来場者参加型の研究所「The Lab.みんなで世界一研究所」

【運営者】
一般社団法人ナレッジキャピタル株式会社KMO

タウンマネジメント



けやき並木に広がる「オープンカフェ」
※「道路占有許可の特例制度」を活用した官民連携のまちづくり。

うめきた広場でのクリスマスイベント

【運営者】
一般社団法人グランフロント大阪TMO
先行開発区域「グランフロント大阪」の一体的な管理・運営を担うタウンマネジメント組織です。上記をはじめとする、まちづくり推進事業とプロモーション事業を運営しています。

新たに踏み出した、次代の要請に応えるまちづくり。
国際競争力を高め、関西の発展をけん引するリーディングプロジェクト、うめきた2期区域。

うめきた2期区域まちづくりの方針(概要)

「まちづくりの方針」策定に当たっては、民間の独創的なアイデアやノウハウを求める民間提案募集を実施し、ここで選定された優秀提案の内容をもとに、提案者との「対話」を行いつつ、「まちづくり検討会」において検討を行った上で、「大阪駅周辺地域部会」において、平成27年(2015年)3月に決定しました。

2期のまちづくりの目標
「みどり」と「イノベーション」の融合拠点

世界の人々を惹きつける
比類なき魅力を備えた「みどり」

まち全体を包み込む「みどり」がここにしかない新しい都市景観を創出し、多様な活動、新しい価値を生み出す源となり、世界の人々を惹きつける。

新たな国際競争力を獲得し、
世界をリードする「イノベーション」の拠点

世界からの人材、技術を集積・交流させ、新しい産業・技術・知財を創造することで新たな国際競争力を獲得し、我が国の成長エンジンとして世界をリードする「イノベーション」の拠点となる。

- 「みどり」が人間の創造性を刺激する環境を創出し、世界からその環境を求める人材や技術、資本を集積させる。
- 「みどり」が創り出す魅力ある空間と、関西の力を結集させた中核機能とが融合し、世界中から訪れる人々に新たな知の交流を提供する。

○「みどり」と「イノベーション」の融合拠点

多様な価値をうみだす「みどり」と「イノベーション」を支える中核機能

新産業創出

～新たなビジネスチャンスの創出～
参加型実証研究、ビッグデータ活用、プレマーケティング

国際集客・交流

～まちと一体化する交流空間～
屋外空間も活用したイベント・展示、レセプション

知的人材育成

～交流による多様な気づき～
プロジェクトを通じた学び、実践的プログラムの実施

*第8回大阪駅周辺地域部会資料より抜粋

イノベーションの創出



○新産業創出のテーマ「ライフデザイン・イノベーション」

IoTやビッグデータ等を活用し、創薬や医療機器開発だけでなく健康で豊かに生きるための新製品・サービスを創造

中核機能の実現に向けて平成29年6月から「うめきた2期 みどりイノベーション融合拠点形成推進協議会」を立ち上げ、先行的にイノベーション創出活動を推進しています。

○「みどり」を2期区域全体に展開し、
概ね8ha(水面等も含む)を確保



基盤整備

土地区画整理事業

- 事業の目的 大阪駅前にはふさわしい土地利用を支える道路や交通広場などの公共施設等の整備改善および都市の再生に資する開発との連携により、都市機能の更新を図ることを目的とします。
- 事業名称 大阪都市計画事業大阪駅北大深西地区土地区画整理事業
- 区域面積 約19.3ha(公園約0.1haを含む)
- 事業期間 平成27年度(2015年度)～令和8年度(2026年度)(清算期間5年を除く)
- 主な公共施設 大阪駅北1号線、大阪駅北2号線、大阪駅北3号線、5号大阪西口広場 等
- 施行者 独立行政法人都市再生機構

都市公園事業(防災公園街区整備事業)

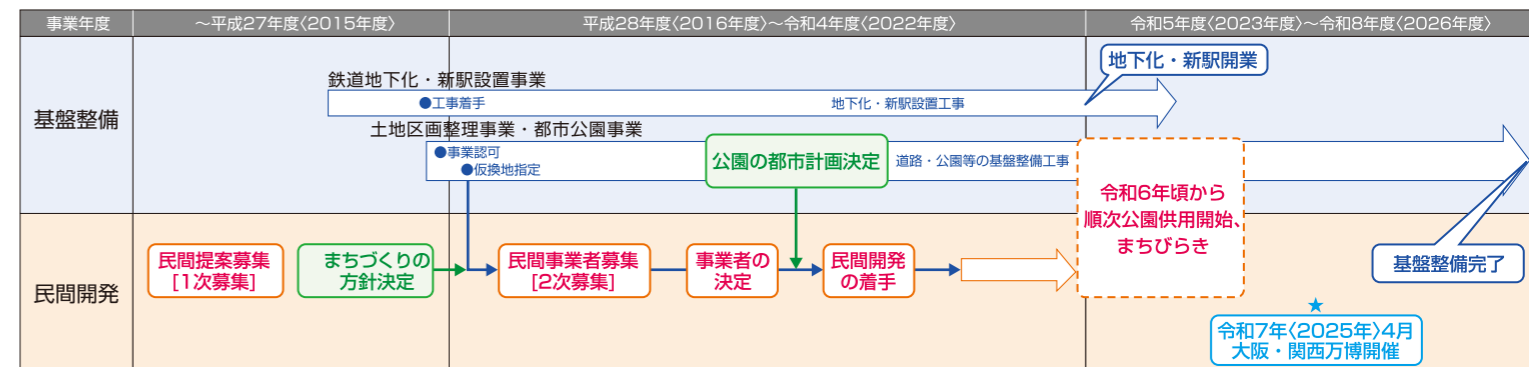
- 事業の目的 本公園整備により大規模災害時の避難者の安全確保、帰宅困難者の一時退避スペース等の防災機能の強化を図ることを目的とし、周辺市街地の整備改善と一体的に事業を実施します。
- 事業名称 大阪市北区大深町(うめきた2期)地区防災公園街区整備事業
- 区域面積 約4.4ha(防災公園部分)
- 整備期間 平成27年度(2015年度)～令和8年度(2026年度)
- 施行者 独立行政法人都市再生機構

*大阪市では「みどり」の空間をつくり、育てるために「うめきたみどり募金」を募っています。

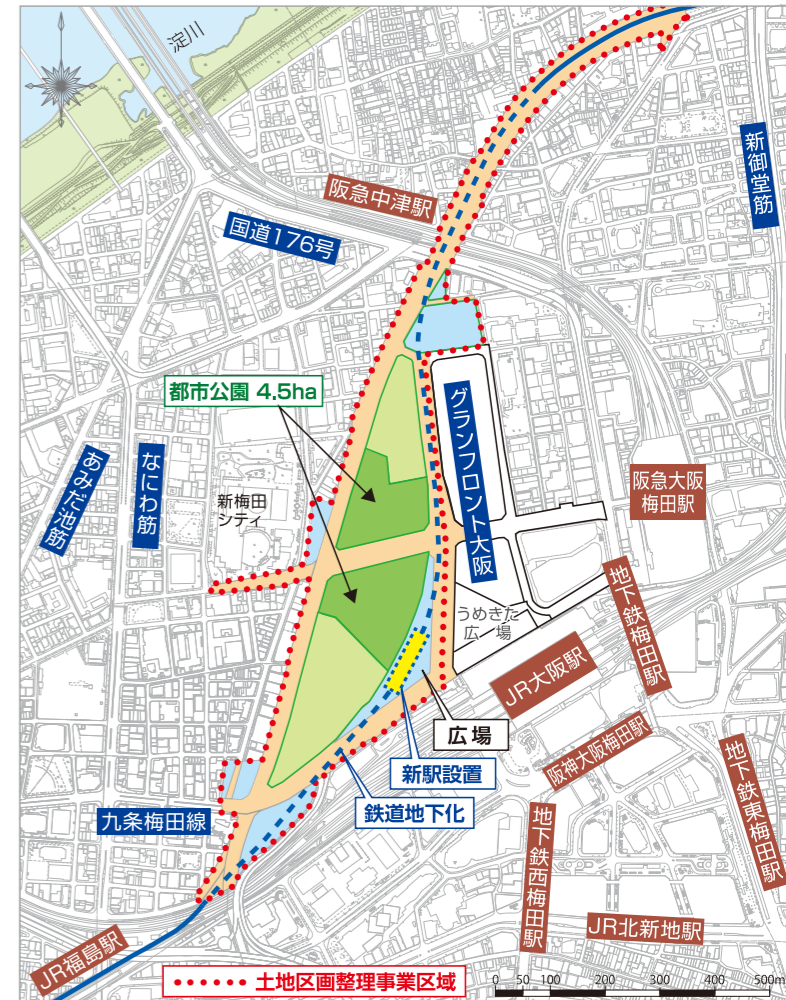
JR東海道線支線地下化事業及び新駅設置事業

- 事業の目的 これまで鉄道により分断されていたまちを一体化し、踏切事故の解消や、交通の円滑化を図る目的で実施される事業です。これにより、地区と関西国際空港間の移動時間が短縮され、国際競争力の強化を図ることが期待されます。
- 事業名称および事業主体 <JR東海道線支線地下化事業> 事業主体 大阪市 事業延長 JR東海道線支線 約2.4km <新駅設置事業> 事業主体 西日本旅客鉄道株式会社
- 事業期間 平成26年度(2014年度)～令和5年度(2023年度)

今後のスケジュール(予定)



基盤整備事業概要



民間誘導

土地有効利用事業

- 事業の目的 当地区では、「まちづくりの方針」に基づく質の高いまちづくりを実現するため、土地を先行取得した上で民間の開発事業者を募集します。その後、募集により選定した開発事業者と連携し、国際競争力を備えた「みどり」と「イノベーション」の融合拠点の実現を図ります。
- 事業名称 大阪市北区大深町(うめきた2期)地区土地有効利用事業
- 事業主体 独立行政法人都市再生機構
- *平成27年(2015年)10月 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構から土地取得(約9.7ha)

URは先行開発区域を含むうめきた全体のまちづくりに総合的に取り組んでいます。

■ URの役割

計画策定支援

- ◆産官学連携による国際コンセプトコンペ運営
- ◆基本構想及び基本計画策定等の支援

土地取得

- ◆コンセプト実現のための大規模土地の先行取得・長期保有

基盤整備

- ◆土地区画整理事業及び防災公園街区整備事業による都市機能更新、基盤整備
- ◆同時並行で進む各種の関連事業との基盤調整

民間誘導

- ◆民間の自由な発想を最大限発揮しつつ、コンセプト実現を図るための開発事業者の適切な誘導

■ 公民連携の取り組み

うめきた2期区域では、開発条件を定め、事業企画提案方式によって開発事業者募集を行い、国際競争力強化、防災性向上、環境負荷低減、近未来技術の社会実装等、大阪の魅力を高める先進的なまちづくりを公民連携で進めています。

ハードの取り組み

概ね8 haの「みどり」を確保

都市公園、西口広場、民間宅地などにおける「みどり」の確保

質の高い公共空間を実現

公共事業と民間提案の連携による、大阪駅前の「顔」づくり

有効避難面積の確保

広域避難地としての役割、帰宅困難者受入などの防災対策機能の強化

ソフトの取り組み

マネジメント

まちの一体的マネジメント

民間宅地に加え、周辺歩道や都市公園を含めた一体的な取り組み

CO₂削減やエネルギーマネジメントを実現

実用・研究・実証段階技術の積極的な導入

イノベーション

イノベーションプラットフォームを設置・運営

多数の人々の参加や交流による多様な価値を生み出す「場」づくり

公共空間における賑わいやイノベーションを創出

道路占用特例許可や公園施設設置許可等の積極的な活用

スマートシティ・サステナブルなまちの実現

工事ヤードを活用した情報発信

◎暫定利用

2018年度までの約3ヶ年、うめきた2期まちづくりのプロモーション、周辺エリアの賑わい創出及び防災意識の普及啓発が図られるよう、区域内の暫定的な利活用を大阪市等と協力連携して実施しております。緑や花があふれる庭園、防災、環境等に関する市民参加型・体験型のイベント、音楽と大阪の食文化を表現するイベント、エネルギー利用技術の実証フィールドとしての活用など、多様な事業を行いました。



◎UMEKITA BASE by UR

当地区の未来イメージを、みなさまに知っていただくため、当地区内地上通路の一角にカフェを併設した情報発信拠点「UMEKITA BASE」を期間限定でオープンしました。くつろぎの場となるカフェやストリートピアノ、みどりの演奏会の開催、ガイドツアーなどを行い、うめきたの未来を感じられるスポットです。2024年の先行まちびらきに向けてエリアを一層盛り上げています。



～「みどり」と「イノベーション」の融合拠点の実現～
うめきたから関西へ、国内外へと広がっていくOsaka “MIDORI” LIFE

■ コンセプト

希望の杜—Osaka “MIDORI” LIFE 2070の創造—

一人ひとりにとっての「幸せな人生」と「希望のある社会」それを実現するために知恵を分かち合う場と社会に参画する機会を提供します。

「みどり」と融合した
生命力と活力あふれる
都市空間

ひらめきや創造に
つながる
多様で寛容な場づくり

新たな価値が
うめきたから関西へ、
国内外へと広がるマネジメント

■ 計画概要



【民間宅地の計画諸元】

街区	北街区	南街区
敷地面積	約16,000㎡	約30,000㎡
施設構成	ホテル、イノベーション施設、プラットフォーム施設、オフィス、商業施設、分譲住宅、駐車場	オフィス、ホテル、商業施設、都市型SPA、MICE施設、イノベーション施設、分譲住宅、駐車場

【都市公園の計画諸元】

街区	北街区	南街区
面積	約20,000㎡	約25,000㎡
施設構成	飲食店、売店、ミュージアム、体験学習施設、休憩所、備蓄倉庫	飲食店、売店、管理事務所、体験学習施設、備蓄倉庫、イベント諸室、屋根付広場、屋根付野外劇場



※以上の提案概要は、事業企画提案の内容であり、事業の実施においては、今後の行政機関との協議により一部変更になる場合があります。